

# TANGO TEXTILE EXHIBITION

オープンファクトリー



# 精練 の 世界

せいれん

工場  
見学に  
行こう!



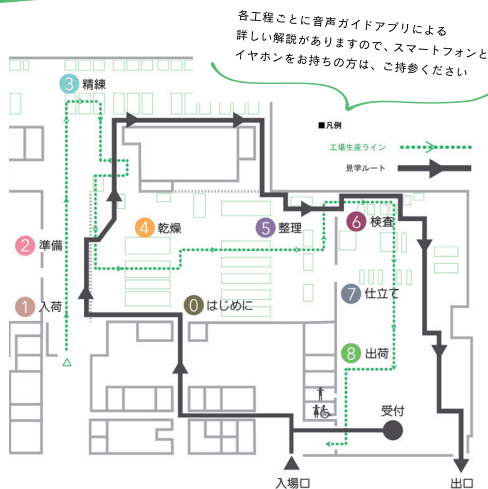
2022 **12.13** Tue ~ **12.23** Fri

場 所 : 京都府京丹後市大宮町河辺 3188 (※駐車場有)

時 間 : 10:00~/13:30~/15:00~ (※所要時間約40分)

料 金 : 大人 500円 / 小中高・大学生 300円 / 幼児 無料

## 工場見学ルートマップ



## 「精練とは」

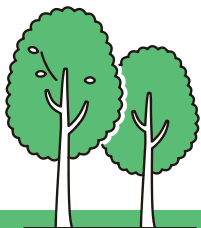


生糸に含まれているたんぱく質の一種であるセリシンや不純物を、石けんを中心に薬品を加えた熱湯の中で洗い落とす工程です。この工程によりヨコ糸の撚りがもどり、はじめて手触りも柔らかな、ちりめん独特の凹凸感をもった風合いの良い純白の絹織物になります。

## 「丹後ちりめん」



3次元の表情を持つ伝統の織物「丹後ちりめん」は創業300年を迎えた伝統の技術です。緯糸に強撚糸を使用し、精練加工を経ることで生地表面にシボと呼ばれる凹凸が生まれる、後染め織物です。厳しい検査を経た製品にブランドマークを押し、高品質な「丹後ちりめん」として保証しています。



丹後は、着物の後染用生地の生産量が日本一の絹織物産地です。この度、丹後ちりめんの精練加工工程を一目できるファクトリーツアーを開始することになりました。300年の歴史をもつ丹後ちりめんの世界をぜひご覧ください。



※予約いただくとスムーズに見学いただけます。

# 工房見学 可能企業一覧

※各工房へ事前予約が必要になります

## 創作工房糸あそび BtoBのみ・19日(月)～23日(金)のみ Creative Workshop ITOASOBI

丹後独特の織り、撚糸の伝統技術の蓄積を背景に、手拵染めした糸を、手織り、ジャカード織、カラミ織、ドビー織など様々な織の技術と組み合わせ、多品種・小ロット生産の体制で付加価値を追求した独自の生地を企画・製造・販売しています。

住 所：〒629-2311 京都府与謝郡与謝野町幾地1222  
T E L：0772-42-3515  
E-mail：itoasobi@nifty.com  
U R L：https://itoasobi.jp/  
担当者：取締役 山本 徹



## 田勇機業株式会社 Tayuh Textile Industry Corp.

丹後ちりめんの特徴である「水撚り八丁撚糸」から、整経・製織・染めまで一貫した工程で生地作りを行っております。和装・洋装・インテリア等幅広く生地の生産ができ、受注生産にて対応いたします。

住 所：〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川112  
T E L：0772-72-0307  
E-mail：info@tayuh.jp  
U R L：http://www.tayuh.jp/  
担当者：代表取締役 田茂井 勇人



## 柴田織物 14日(水)～23日(金)のみ ※土・日を除く Shibata Textile

デザイン、糸、染、紋、織を自社で行います。絹を中心に、ヘンプ、リネン、綿、ウール、多くの素材を取り扱い、和装、洋装、インテリアなど、小ロット、多品種で幅広いテキスタイルの提案ができます。対応幅30～160cm

住 所：〒629-2313 京都府与謝郡与謝野町三河内869-2  
T E L：0772-42-2843  
E-mail：nuitori@gmail.com  
U R L：http://www.shibata-orimono.com/  
担当者：代表 柴田 祐史



## TAMIYA RADEN BtoBのみ・22日(木)のみ

きもの用帯の伝統的な技法を発展させ、貝殻の真珠層を織物にする螺鈿織を開発した工房です。貝殻以外にも、牛革や、木、漆和紙などをシルクに織り込んだ独自の生地を創作しています。

住 所：〒627-0212 京都府京丹後市丹後町三宅312  
T E L：0772-75-0978  
E-mail：tamiya@gold.email.ne.jp  
U R L：https://tamiyaraden.com/  
担当者：取締役 民谷 共路



## 丸仙株式会社 各週月・火・水のみ Marusen Co., Ltd.

織り上がるまでの全ての工程を自社で行い、生地のみならず、ちりめんをもっと身近というテーマで「ちりめん美人」ブランドを立ち上げ、絹の良さを活かした製品開発やSDGsへの取り組みも行っています。

住 所：〒629-2262 京都府与謝郡与謝野町岩滝1875  
T E L：0772-46-2010  
E-mail：marusen.kabu@gmail.com  
U R L：https://marusen-co.jp/  
担当者：代表取締役 安田 博美



※お問い合わせは各工房へお願いいたします。内容によってはご要望に添えない場合がございます。ご了承ください。

## 同日併催イベント

# TANGO TEXTILE 展示商談会・販売会

2022年12月13日(火)～23日(金)10:00～16:00 丹後織物工業組合特設会場(組合敷地内)

どなたでもご来場いただけますので、ご家族・ご友人もお誘いの上、ぜひお越しください。

## 丹後ちりめんの歴史は、 生地の表情「テクスチャー」の歴史

京都西陣から、ちりめん織りの技術を持ち帰った数名の先人たちが、独特の「シボ(生地の凹凸)」を持ったちりめんの生産に成功したことにより、丹後ちりめんが始まりました。彼らはその技術の人々に惜しみなく教え、瞬く間に丹後一円に広まりました。丹後の職人たちは300年の間、各時代の和装シーンにいくつもの主流商品を生み出してきました。生地が透けて見える紹ちりめん、色糸・金銀糸などを織り込む縫取りちりめん、上品な光沢を放つ緞子ちりめんなど、撚糸と織り技術の応用によって様々な「表情(テクスチャー)」の素材が誕生しました。その結果、戦前から丹後は日本一の絹織物生産地となり、今やそのシェア※は全国の約70%にも上ります。そして、その挑戦は、今なお続いています。

※日本で生産される和装用後染織物(表地)の数量、(一社)日本絹人織織物工業会の資料に基づき試算

## 世界最高水準の表情を生み出す 「撚糸×織り」

撚った糸=撚糸を使って織物を織ることは、非常に難しい... 経糸の張力、緯糸を打ち込む回転数の調整など、経験によってしか得られない複雑な感覚が求められるからです。しかし、丹後ちりめんの職人は永きに渡る技術の蓄積により、呼吸をするがごとく撚糸を自在に操り、世界的に見ても希少な表情を持つ生地を織り続けてきました。その表情の本質は、生地が3次元の奥行きを持つということ。糸が縮む力を利用して生み出す独特の凹凸「シボ」は、本来平面的である織物に立体感を与えます。撚糸一つをとっても糸の合わせ方や撚り回数など、組み合わせにより数え切れないほどの種類の緯糸が存在します。職人たちは組織の違いなどをかけ合わせることで、生地表面に様々な表情を作り出してきました。今、世界が「面白い」と着目し始めている丹後ちりめんの生地の表情(テクスチャー)は、ここ丹後でしか実現できない世界最高水準の技術なのです。

お問い合わせ先：丹後織物工業組合 〒629-2502 京都府京丹後市大宮町河辺3188  
TEL：0772-68-5211 MAIL：info@tanko.or.jp

## TANGO TEXTILE EXHIBITION



### 電車でのアクセス

- JR 京都駅から  
「京都丹後鉄道京丹後大宮駅」下車  
特急利用の場合：約2時間30分
- JR 大阪駅から  
「京都丹後鉄道京丹後大宮駅」下車  
特急利用の場合：約2時間30分

### お車でのアクセス

- 京都方面から  
沓掛ICから京都縦貫自動車道～約1時間30分  
京丹後大宮IC～R312～約10分
- 大阪方面から  
吹田JCT～大山崎JCT～京都縦貫自動車道～  
約1時間30分～京丹後大宮IC～R312～約10分